

第10回国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議

国際会議等各種会議の 北海道開催推進に係る取組

平成28年9月1日

独立行政法人 国際観光振興機構
コンベンション誘致部

日本政府観光局（JNTO）の概要

Vision : 私たちが目指すこと

私たちは、日本のインバウンド旅行市場を拡大する政府観光局として、国民経済の発展、地域の活性化、国際的な相互理解の促進、日本のブランド力向上を実現することにより、未来の日本をより豊かに、元気に、明るくすることを目指します。

組織概要

- 正式名称 : 独立行政法人国際観光振興機構（国土交通省 観光庁所管）
※通称として「日本政府観光局」、略称としてJNTO（英文名称：Japan National Tourism Organizationの頭文字）を使用しています。
- 国内拠点 : 本部（東京）
- 海外拠点 : 14事務所（ソウル、北京、上海、香港、バンコク、シンガポール、ジャカルタ、シドニー、ロンドン、フランクフルト、パリ、ニューヨーク、ロサンゼルス、トロント）
* 平成28年度以降開設予定(クアラルンプール、マニラ、ハノイ、デリー、ローマ、マドリード、モスクワ)

JNTOの活動

JNTOは世界14都市に海外事務所を持ち、外国人の訪日旅行の促進に向けて、海外現地目線に立ったプロモーション、マーケティングを行っています。

<主な事業>

- 訪日旅行市場に関する市場分析・マーケティング
- 海外現地メディアを通じた広告・宣伝
- 国際会議（MICE）の誘致・開催促進
- 海外現地旅行会社の訪日ツアー企画・販売の促進
- ウェブやSNSを通じた訪日観光の情報提供
- 受入環境整備・向上支援



ニューヨークで開催
した訪日セミナー
(安倍総理とゲストスピーカー記念撮影)



海外現地旅行博
への出展



多言語での情報発信
(ウェブ15言語・21市場、
SNS18市場)

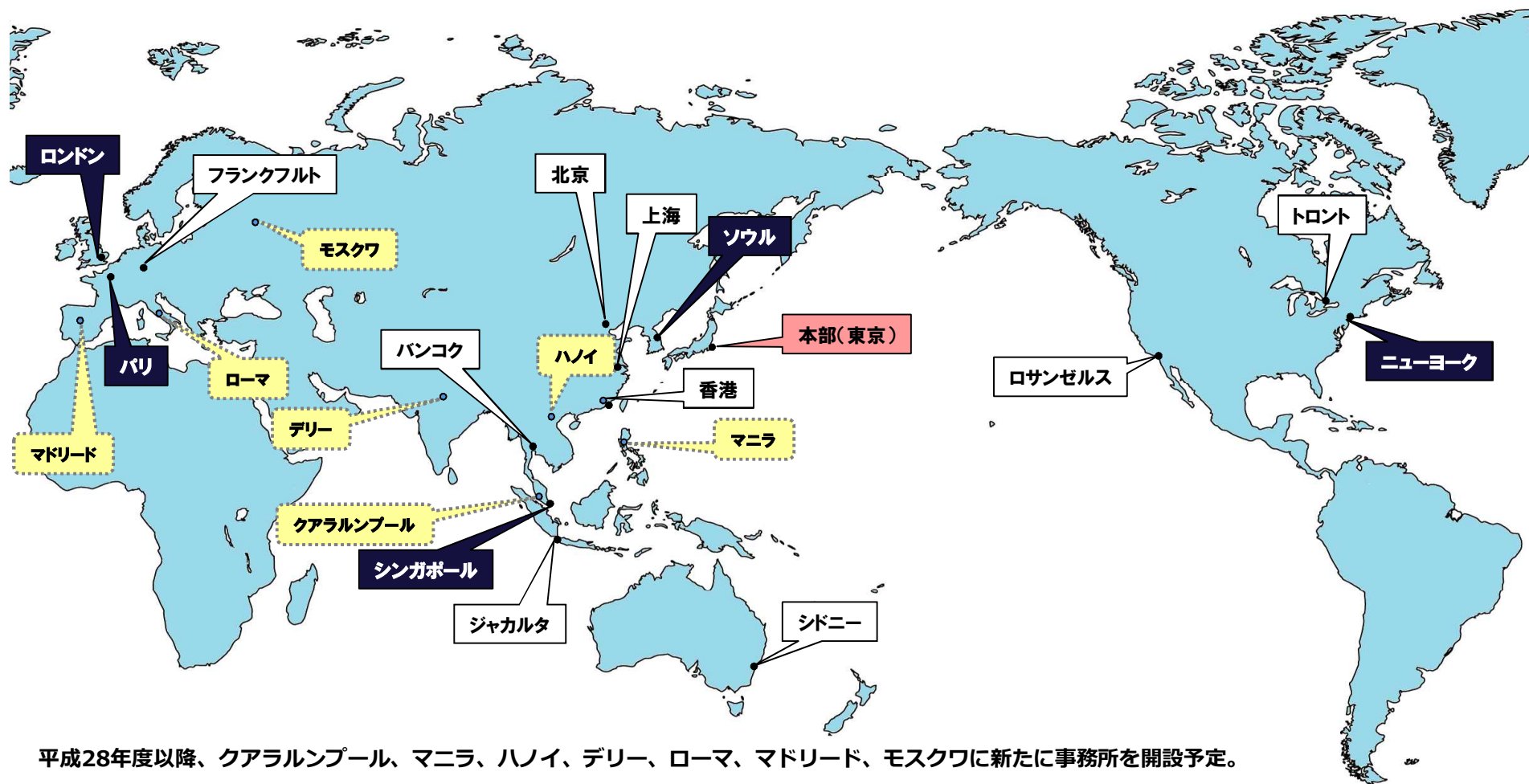


海外現地での
広告・宣伝



海外の旅行会社・
メディアの視察旅行

JNTO海外事務所・海外事務所予定地一覧



平成28年度以降、クアラルンプール、マニラ、ハノイ、デリー、ローマ、マドリード、モスクワに新たに事務所を開設予定。
ニューヨーク、ロンドン、ソウル、シンガポールにMICE専門スタッフ配置 ※平成28年度中にパリにも設置予定。

日本政府観光局 (JNTO) の活動①

訪日外客誘致事業

○海外広告宣伝



○海外メディア、海外現地の旅行会社招請



○旅行博出展・イベント開催



▲現地消費者向け



▲現地旅行会社向け

○共同広告掲載



MICE事業

○ 国際会議等の誘致・開催支援



○ MICE誘致アンバサダーの認定



非佐原 均
豊橋技術科学大学 情報メディア基盤センター 教授
ヨーロッパ以外では初の開催となる「第8回自然言語処理国際会議日本大会」の誘致に成功。その実績により2011年に「国際会議誘致・開催貢献賞」を受賞。アジア太平洋機械翻訳協会会長、機械翻訳国際連盟会長、アジア自然言語処理連盟事務局長などを歴任。



尾知 博
九州工業大学 情報工学研究院 教授
IEEE APCCAS 2014(参加者:約300名 開催地:沖縄)をGeneral Chairとして開催。電子情報工学分野における数多くの論文を発表し、研究者間のネットワークを広く持つ立場にいる。



齋藤 滋
富山大学大学院医学薬学研究部 産科婦人科 教授
2014年に開催された第46回国際妊産生理学会(参加者:700名 開催地:東京)においてプログラム委員長を務め、2019年の第14回 International Society for Immunology of Reproduction(参加者:400名 開催地:奈良)の誘致にも成功した。



坂井 信幸
神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科部長、脳卒中センター長
2016年のInternational Intracranial Stent Meeting(参加者:300名 開催地:神戸)の誘致に成功した。これまでに7,000例以上の脳血管内治療を手がけ、そのスピード・正確性・安定性は日本でもトップレベルと称されている。



笹本 圭子
九州大学 工学研究院 教授
地下水・土壌汚染修復工学分野を専門とした研究を行っている。生物湿式冶金学国際シンポジウム等の国際学会にて、研究成果の発表をしており、関連学会ではPresentation awardを受賞。知名度の高い国際誌にも多く主要論文が掲載されている。



田中 達也
国際抗てんかん連盟 副理事長、やまびこ医療福祉センター 名誉院長。
アジア・オセアニアてんかん学会 理事、旭川医科大学 名誉教授。
てんかんの治療、研究、新薬の開発、社会への啓蒙(社会へのてんかんの知識の啓蒙、偏見・蔑視への取り組み)等にご尽力されている。



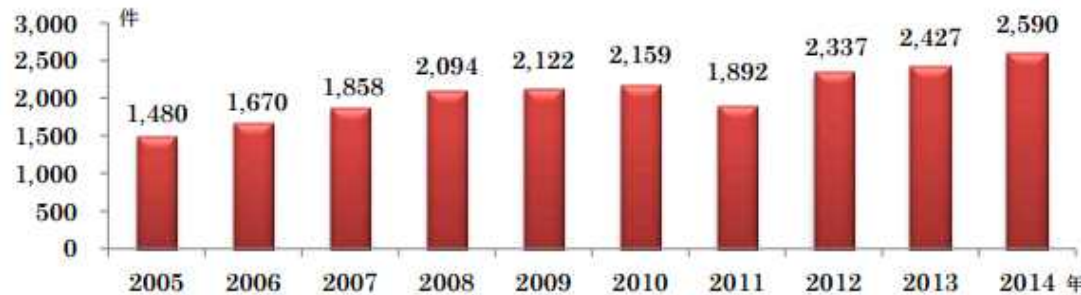
田中 守
慶應義塾大学医学部 産婦人科 教授
International Society of Ultrasound in Obstetrics and Gynecology等の国際学会において積極的に研究発表をしており、日本においても種々の学会の要職を務め、国内外で活躍されている。



馬場 一憲
埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター 教授
胎児の超音波3次元画像の作製に世界で初めて成功され、その後も超音波診断学の進歩に寄与し、殊に3次元超音波診断に関する優れた研究業績を挙げたことにより、日本超音波医学会第12回松尾賞を受賞。

○ 国際会議統計の集約

資料1 日本の国際会議開催件数(2005年～2014年)

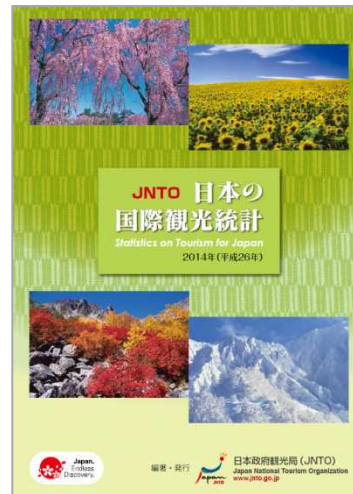


マーケティング・コンサルティング事業

○ コンサルティング対応



○ マーケティング・統計資料の発行



○ 訪日外客数の算出・発表

2016年3月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for Mar. 2016 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2015年 3月	2016年 3月	伸率(%)	2015年 1月~3月	2016年 1月~3月	伸率(%)
総数	Grand Total	1,525,879	2,009,500	31.7	4,131,254	5,752,800	39.3
韓国	South Korea	268,156	374,100	39.5	947,825	1,379,800	45.6
中国	China	338,121	498,100	47.3	923,415	1,472,100	59.4
台湾	Taiwan	277,934	328,400	18.2	772,595	998,400	29.2
香港	Hong Kong	117,223	161,000	37.3	314,349	437,800	39.3
タイ	Thailand	92,438	99,700	7.9	181,246	222,100	22.5
シンガポール	Singapore	23,147	33,000	42.6	51,253	68,500	33.7
マレーシア	Malaysia	28,193	38,200	35.5	59,774	87,900	47.1
インドネシア	Indonesia	19,542	26,800	37.1	37,319	52,500	40.7
フィリピン	Philippines	26,786	37,500	40.0	55,404	74,800	35.0
ベトナム	Vietnam	18,736	23,200	23.8	40,491	55,600	37.3
インド	India	8,228	9,700	17.9	21,981	26,500	20.6
豪州	Australia	29,178	41,800	43.3	108,064	133,800	23.8
米国	U.S.A.	95,609	116,200	21.5	216,847	259,700	19.8
カナダ	Canada	21,638	26,600	22.9	52,192	61,800	18.4
英国	United Kingdom	25,205	34,700	37.7	58,005	72,400	24.8
フランス	France	18,090	22,100	22.2	40,076	48,700	21.5
ドイツ	Germany	18,374	21,100	14.8	36,514	42,100	15.3
イタリア	Italy	8,869	10,700	20.6	17,717	21,200	19.7
ロシア	Russia	5,503	4,900	-11.0	12,308	12,400	0.7
スペイン	Spain	6,330	8,700	37.4	11,637	14,700	26.3
その他	Others	78,579	93,000	18.4	172,242	210,000	21.9

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 上記の2015年の数値は暫定値、2016年の数値は推計値である。

◆注3: 訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2016 stand for the preliminary ones estimated by JNTO.

受入体制の整備

- ツーリスト・インフォメーション・センター（TIC）の運営
丸の内・新東京ビル1階

- 外国人観光案内所の認定およびサポート



JNTO認定外国人観光案内所
全国668ヶ所

- 宣伝ツールの作成・提供



その他にも

- 通訳案内士試験の実施
- 外国人受入・接遇研修への協力

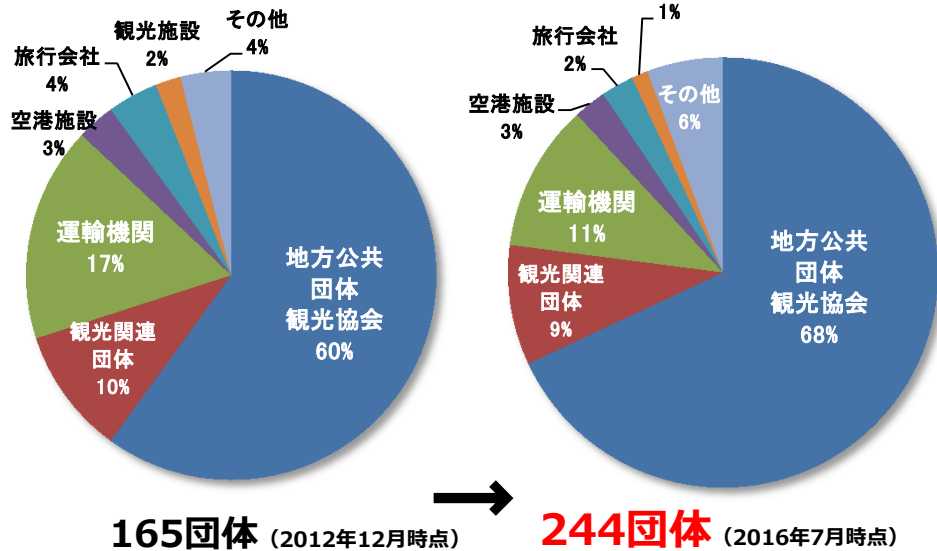


JNTO事業パートナーについて

- 世界14都市にある海外事務所のネットワークを活かして、事業パートナーの皆様のインバウンド・ツーリズム振興への取り組みを支援。
- 海外へのPRによる地域やサービスの認知度向上、海外セールスによるネットワーク構築、訪日旅行市場に関する情報提供など、トータルにサポート。

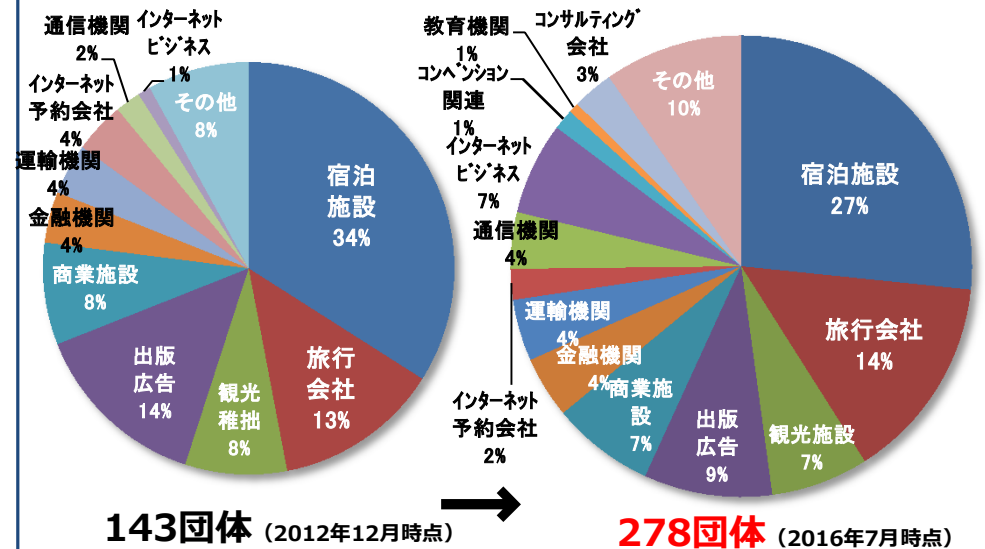
賛助団体制度

JNTOの事業に賛同頂き、「賛助金」を出資いただく制度
 賛助金：地方公共団体の場合は行政区分、民間企業の場合はカテゴリー（業界・業種）・事業規模・受益の程度などを考慮して期待額を提案させていただきます。



会員制度

JNTOのサービスを「年会費」をお支払いいただくことでご利用いただける制度
 年会費：300,000円+税（4月～翌年3月。年度途中からの入会の場合は月割り）



事業パートナーへのサービス内容

<PR・海外セールス支援>

JNTOオフィシャルサイトでの広報、外国語パンフレットの海外事務所へ定期発送、海外セールスアポイント代行取得など

<マーケティング支援>

メールマガジン、賛助団体・会員専用ウェブサイト閲覧、JNTO発行出版物提供、個別アドバイスと情報提供など

MICE誘致政策の概要 (JNTO)

MICE誘致・開催のためのプロモーション強化

<MICEブランドの構築>

海外の主催者に対し日本のMICEブランドの認知度向上と差別化を図ることで、日本でのMICE開催を誘致するための広報活動の支援を図る。

<MICE誘致アンバサダープログラム>

具体的な国際会議の誘致案件を持つ学会関係者等をMICE誘致アンバサダーに認定し、誘致活動を支援し、研究者等のMICE誘致環境を改善する。

<MICEキーパーソン招請>

国際会議の開催地決定権者等を日本に招請し直接的にPRする。

<海外MICE見本市への出展>

海外における主要MICE見本市にブースを出展し、コンベンションビューローやサプライヤー等の共同出展者の商談をサポートする。

<MICE専門誌の招請>

MICE専門誌等メディアを招請し、記事広告等を作成することで、MICE開催地としての日本の認知度を向上させる。

<MICE人材の育成>

自治体、関係機関のMICE担当者を対象に定期的にセミナーを開催し、日本へのMICEの誘致・受入能力の向上を目指す。

国際会議等のMICE誘致を強力に推進

MICEブランドの構築

- MICE関係者に対し共通の理念や目的意識を統一し、オールジャパン体制によるMICE誘致・開催を促進する。
- 海外の主催者に対し日本のMICEブランドの認知度向上と差別化を図ることで、日本でのMICE開催を誘致するための広報活動の支援を図る。

ブランド名

Meetings & Events

タグライン

New ideas start here

ブランドロゴ



Japan. Meetings & Events
New ideas start here

日本のMICEが目指す姿

日本の感性と知性が、ビジネスを未来へ動かす。

MICE誘致アンバサダープログラム (概要)

- MICEを戦略的に誘致するため、産業界や学術分野において国内外に対し発言力やネットワークを有する方々を日本の「MICE誘致アンバサダー」として委嘱する。
- 日本国内における国際会議開催の意義についての普及啓発活動、及び、それぞれの専門分野において、具体的な国際会議の日本への誘導活動をおこなっていただくことにより、日本の国際会議件数の増加や日本国内における国際会議開催の意義に対する理解度の向上、並びに海外における日本のプレゼンス向上を目的とする。

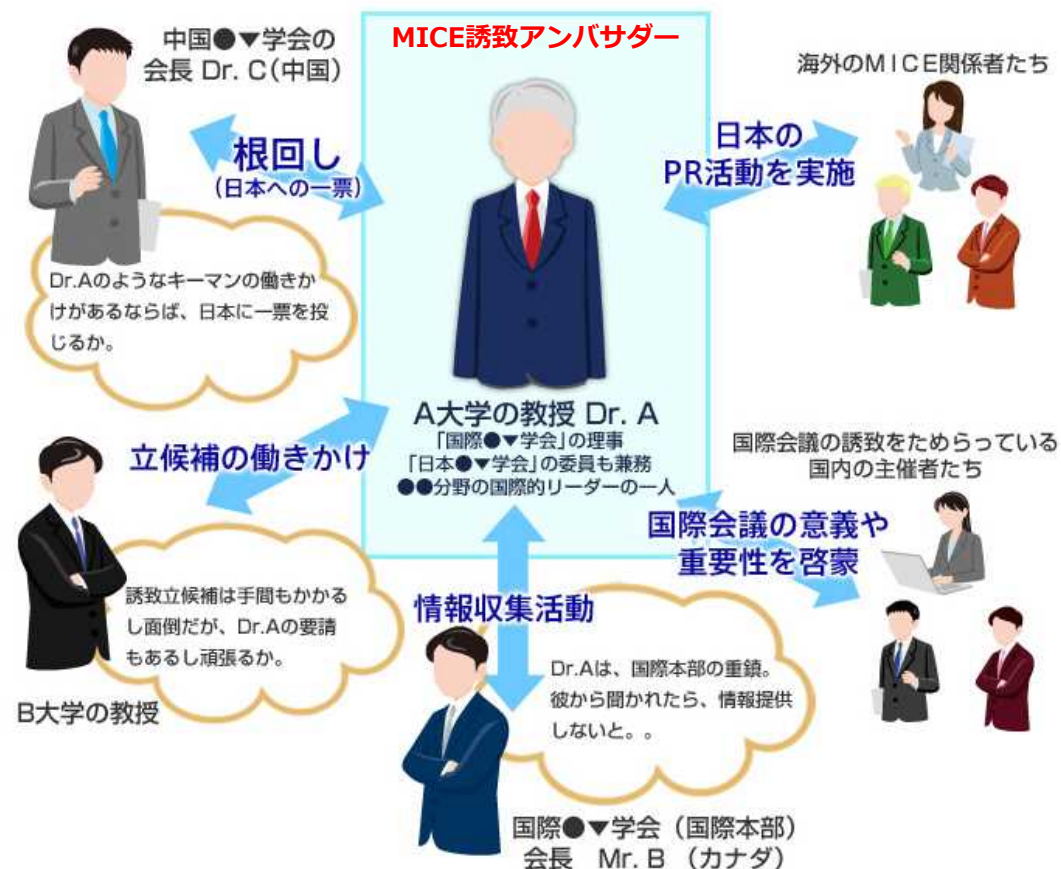
<MICE誘致アンバサダーの活動内容>

アンバサダーは、そのネットワークや影響力を活かして下記の役割を担うことを期待。

- ・ 日本におけるMICE開催の意義に関する普及・啓蒙
- ・ MICE開催地としての日本のPR
- ・ 日本への国際会議等の誘致・開催の促進

<MICE誘致アンバサダーに対する支援>

- ・ 国際会議の誘致活動支援
- ・ 立候補都市選定への協力
- ・ 国際本部等のキーパーソン招請
- ・ プレゼンテーション資料作成 等



国際MICE見本市への出展

- 海外で開催されるMICE見本市に出展し、日本で開催される可能性のある国際会議やインセンティブ旅行等に関する情報交換や商談を行う。
- 見本市でコンタクトの生まれた国際会議や、インセンティブ旅行実施企業を、出展後もフォローアップし、日本での開催の実現に繋げている。


imex
Frankfurt
19-21 April 2016

名称 : The Worldwide Exhibition for Incentive
Travel, Meeting and Events

会場 : Messe Frankfurt Hall 8, Germany

会期 : 2016年4月19日~21日

規模 (2015年実績) :

来場者 : 14,398名、出展者 : 3,500団体

招待バイヤー : 3,952名 (78ヶ国・地域)

商談件数 : 65,000件

日本側参加団体 : 22団体 (CB,PCO,Hotel等)



平成28年度出展予定の海外MICE見本市

名称	会期	開催国・都市	規模(2015年実績)
IT & CM CHINA 2016	2016年 4月6日(水)～8日(金)	中国・上海	来場者:1,801名 出展者:263団体
IMEX 2016	2016年 4月19日(火)～21日(水)	ドイツ フランクフルト	来場者:14,398名 出展者:3,500団体
CIBTM	2016年 9月7日(水)～8日(木)	中国・北京	来場者:5,000名 出展者:365団体
IMEX AMERICA 2016	2016年 10月18日(火)～20日(木)	米国 ラスベガス	来場者:10,732名 出展者:3,100団体
EIBTM 2016	2016年 11月29日(火)～12月1日 (木)	スペイン バルセロナ	来場者:14,986名 出展者:3,654団体
AIME 2017	2017年 2月21日(火)～22日(水)	オーストラリア メルボルン	来場者:4,588名 出展者:523団体

海外MICEセミナー・商談会

- 海外の国際会議等主催者やインセンティブ旅行関係者を対象としたセミナーを海外各地で開催し、MICE開催地としての日本のよさをアピール。
- 各セミナーの後に商談会も開催。

名称：台湾インセンティブ旅行セミナー

日程・開催地：2016年8月2日（火）高雄、3日（水）台中、4日（木）台北

現地バイヤー数（予定）：高雄50名、台中50名、台北100名

概要：日本へのインセンティブ旅行が多い台湾のインセンティブツアー取扱旅行会社を対象に、日本の各都市のインセンティブツアーの魅力や支援サービスを説明するセミナーと商談会を実施。有望なインセンティブ旅行案件の獲得を図る。



平成28年度開催予定の海外MICEセミナー・商談会

誘致対象	セミナー	日程	開催都市
国際会議	韓国 国際会議 キーパーソンセミナー	2016年6月22日(水)	ソウル
国際会議	シンガポール 国際会議主催者セミナー	2016年10月27日(木)	シンガポール
インセンティブ旅行	インドネシア インセンティブ旅行セミナー	2016年6月1日(水)	ジャカルタ
インセンティブ旅行	台湾 インセンティブ旅行セミナー	2016年8月2日(火) 3日(水)・4日(木)	高雄・台中・台北
インセンティブ旅行	シンガポール・マレーシア インセンティブ旅行セミナー	2016年7月19日(火) 21日(木)	シンガポール クアラルンプール
インセンティブ旅行	韓国 インセンティブ旅行セミナー	2016年9月27日(水) 28日(木)	ソウル・釜山
インセンティブ旅行	タイ インセンティブ旅行セミナー	2017年2月	バンコク

MICE誘致・開催のためのプロモーション強化③

VISIT JAPAN トラベル&MICE マート2016



The Biggest Inbound Travel Market Place Japan
VISIT JAPAN Travel & MICE Mart 2016
2016.9.21 Wed — 9.23 Fri
TOKYO BIG SIGHT (Ariake, Tokyo)

<概要>

日程：商談会 2016年9月21日（水）～23日（金）
会場：東京ビッグサイト
招待者：海外バイヤー 330社程度
MICE専門バイヤー 25社程度
出展者：国内セラー 400社程度
MICE専門セラー 30社程度
主催：日本政府観光局（JNTO）
後援：観光庁



IME2016



IMEとは、全国のコンベンションビューローやMICE関連事業者及び外国政府観光局等が出展し、各種学会や大会・企業会議・インセンティブ旅行を実施している学協会・大学関係者、企業・旅行会社向けのプロモーション、商談を行うMICE見本市。

国内唯一の国内および国際会議のトレードショー

出展概要

名称	第26回 国際ミーティング・エキスポ
開催日時	2016年12月6日(火)～7日(水)
会場	パシフィコ横浜 展示ホールA
主催	観光庁、日本コンgres・コンベンション・ビューロー (JCCB)、日本政府観光局 (JNTO)
企画・運営	日経BP社
予定来場者数	3,500名 (2015年実績 3,441名)
入場料	事前登録者および招待券持参加者は無料、当日登録者は1,000円(税込)



MICE人材の育成

- 日本でMICE誘致・開催に取り組む地方公共団体、旅行・宿泊・会議運営関係企業担当者等を対象に定期的にセミナーを開催し、日本へのMICEの誘致・受入能力の向上を目指す。

MICEセミナー〈基礎編〉



新たにMICE業務を担当する実務担当者を主な対象に、国際MICE市場の概要や誘致・セールス活動の手法及び実際の国際会議の流れを学ぶ。

<プログラム>

- ・ MICE誘致の現状とJNTOの取組み
- ・ 国際会議を誘致するためのポイント
- ・ 国際会議開催支援で必要なこと
- ・ インセンティブイベントの仕組みと誘致の課題

MICEセミナー〈実践編〉



MICE業務経験を有する実務担当者を対象に、MICE誘致に向けた効果的な情報発信の仕方やコミュニケーションのテクニック等を学ぶ。

<プログラム>

- ・ MICEウェブサイトによる情報発信
- ・ 外国人誘致に向けた「信頼できる機関」との協同
- ・ 都市の魅力を伝える
- ・ ロールプレイング

国際会議誘致実践セミナー



国際水準のノウハウを持つ海外講師を招請し、MICE分野の高い専門性を有する人材育成を目的に、国際会議の誘致・開催・マネジメント等に関する実践的な研修。

<プログラム>

- ・ The Association Market
- ・ The Bidding Process of ICCA
- ・ Importance of Collaboration
- ・ International Case Studies
- ・ Group Presentations

北海道へのMICE誘致に関する取組例①

国際会議の誘致 <成功事例>

2,000名規模の国際会議アジアで初開催！

会議名	第30回世界牛病学会2018 World Buiatrics Congress (WBC2018)
開催都市・会場	札幌市・札幌コンベンションセンター
予定開催期間	2018年（平成30年）8月
予定参加人数	2,000名（海外：1,500名 国内：500名）
予定参加国数	約60カ国
誘致活動	札幌コンベンションビューローとJNTOが連携して、学会キーパーソン招請、農林水産大臣・観光庁長官・JNTO理事長・北海道知事・札幌市長の招請状の発出やビッドペーパー、プレゼンテーション作成コンサルテーションなどの支援を行う。



北海道へのMICE誘致に関する取組例②

「VISIT JAPAN トラベル & MICE マート2015」ファムトリップ

- 日本への企業インセンティブ旅行の積極的な展開を望む旅行会社のインセンティブ旅行担当者及びコーポレートミーティングプランナーを招請して、国内MICE専門セラーと優先的な商談の実施及び、MICE視察を主目的としたファムトリップを実施

コース名	北海道・道央コース
期日	2015年9月28日～10月1日 (3泊4日)
参加者	マレーシア3名・インドネシア2名
行程	千歳～ニセコ～富良野～札幌～千歳
視察箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・ルスツリゾートホテル&コンベンション<視察> ・ニセコ町チームビルディング・アイスクリーム作り<体験> ・キロロリゾート<視察> ・にしん御殿小樽貴賓館<視察> ・小樽運河<視察> ・フラワーランドかみふらの<視察> ・フラノマルシェ<視察> ・白い恋人パーク<視察> ・さっぽろオータムフェスト2015<体験> ・札幌もいわ山ロープウェイ<視察> ・千歳アウトレットモール・レラ<視察>



北海道へのMICE誘致に関する取組例③

MICE新時代を支える企業ミーティングの誘致強化

招請企業	AMEX Meetings & Events社
企業概要	世界140カ国に顧客企業数約1,000社 年間約42,500件の企業ミーティングや 大型コンベンションを取扱う
招請者	アジア太平洋地域の役職者7名
視察内容	札幌市内のホテル・宴会場、ユニークな パーティ会場として好評な大倉山ジャンプ 競技場など



<企業ミーティング誘致のメリット>

- ホテルの宴会場の稼働率向上が課題となっている中、企業ミーティングは国際会議に比べて規模が小さく、また観光インセンティブとは異なり数日間に渡り宴会場を利用する。
- 会議の各国持ち回り・隔年や数年に一度の開催といった制約が少なく、短いスパンでのリピーター利用が期待できる。

海外メディアへの情報提供

アジア・パシフィック地域のMICE業界・最大の専門誌「TTGmice」に、MICEの新しいプログラムとして、札幌のチームビルディングのメニューを紹介



{ Spotlight }

Cook in the snow

Teambuilding in the great outdoors does not have to be all about rolling about in the snow, with Hokkaido also renown for its cuisine and environmental awareness.

Hakkenzan Eco-catering, set up by German-born Bianca Furst, started teambuilding events just two years ago and now operates a regular selection of handicraft workshops, music events, "slow food" evenings, theatrical productions and agricultural projects. In June, participants in an educational project were encouraged to plant beets and potatoes that will grow into a "German meal".

"We offer 'eco-craft,' eco-cooking' and energy-rally events throughout the year," Furst told TTGmice. "And because we have a huge field - it's white and beautiful in the winter - we plan to offer even more events in the winter months."

"We already do snowshoe walking expeditions, cooking on a fire in the snow and team projects to build an igloo," she said.

"We are particularly keen to connect directly with educational organisations for teambuilding events, and with companies through travel agencies and the city authorities in Sapporo."

One teambuilding activity that has proved particularly popular, and brings together energy education and environmental education, is using solar ovens to cook meals. Hakkenzan also has its own solar panels and uses the power of the sun to dry locally grown soft fruit.

"Hokkaido is great for nature, for food, new ideas, 'onsen' hot springs, nice people, for the seasons and for international exchanges," Furst said. "We aim to combine environmental education on a fruit farm, with a wide range of outdoor experiences, hands-on farming experiences and bringing in the elements of arts, crafts and energy."

For more information, visit www.hakkenzan.jp/ecocatering/ or call (81) 11-596-2280.



Hokkaido has a reputation for winter activities and outdoor adventures

Cold is hot in Hokkaido

From snowshoe races to sledge-building contests, the Japanese island takes full advantage of its frosty weather and pushes MICE activities unique to its climate. By Julian Ryall

For a good part of every year, Sapporo and the countryside that surrounds the largest city in Hokkaido are blanketed in thick, powdery, perfect snow. So it comes as no surprise that the local MICE industry is playing to the climatic strengths of Japan's most northerly island.

Locals call winter "the silver time", but in reality as a decade ago, Hokkaido as a whole had two distinct high seasons for tourists. Those interested in winter sports would arrive for the December-to-February period while the summer season was in July and August.

"We used to have ski resorts that still had great snow on the ground in March and even April, but they were almost empty," said Otsu Aizawa, a spokesman for the Sapporo Convention Bureau's MICE section. "Then

we realised that these venues would be ideal for snow-based teambuilding activities."

"We wanted to take full advantage of the opportunities during our off-seasons, and from there we have started to develop and expand our unique offerings for the incentive sector," he said. TTGmice.

The region's first *Tringa Versus and Team Building Guide* was issued two years ago. Of the dozens of opportunities that have been devised for inbound clients, a number are likely to catch the eye.

The particularly adventurous, even if they are novices, can participate in snowshoe races, while the fittest can take part in a snowshoe race that culminates in an ice cream-making competition. Other venues offer snowman-building competitions, sledge-building contests - with

the vehicle eventually put to the test in a race - and team treasure hunts around winter-bound Sapporo.

One of Hokkaido's claims to winter sport fame is *yukigassen*, which is essentially a snowball fight with rules that were formalised in 1989.

Available at a number of venues, as many as 80 people can participate in a *yukigassen* showdown. There are even venues moves about for the sport.

At the Winter Olympic Games, the event was elevated a notch, the event-tourism people of Hokkaido have elevated it to a sport - the ultimate, perhaps, in Cool Japan.

"The human provides a one-stop service to handle any inquiries from tour agents or incentive organisers," Aizawa said. "Whether a group is looking for something specific or

※「TTGmice」
高い発行部数や絞り込まれた読者層、数々の受賞歴がある記事内容など、全てにおいて業界No.1 MICE業界キーパーソンの重要な情報源となっている。

JNTOの誘致支援について

立候補

誘致活動

開催決定

会議開催

■ 主催者向けセミナーの開催

国際会議の開催成功事例、国際会議の誘致に熱心な各都市やコンベンションビューロー・会議施設、資金集めのための支援制度等をご紹介します。

■ 「国際会議誘致マニュアル」の提供

立候補の方法から立候補書類の作成方法等誘致のノウハウを解説した冊子をご提供します。

■ 開催都市選定のお手伝い

個々の会場に合わせたオーダーメイドのプロポーザルを各都市から入手し、主催者へご提供します。

■ 立候補書類作成のお手伝い

都市やコンベンションビューローと協力して、立候補書類（ビッドペーパー）作成のアドバイスや、JNTO理事長による招請状の発行します。会議により関係省庁の招請状も発行できる場合もあります。

■ PR用画像・映像の提供

ビッドペーパーに使用できる日本のイメージ画像やプレゼンテーション時に利用できる日本PR用映像をご提供します。

■ 国際本部へのアプローチ

海外14ヶ所にあるJNTOのネットワークを活用し、国際団体本部や事務局等のキーパーソンにコンタクトし、日本での会議開催を働きかけます。

■ 海外キーパーソン招請

国際会議開催地としての日本の魅力、充実した受入態勢体制アピールのため、国際会議の開催地決定権者（キーパーソン）を日本へ招請するプログラム「Meet Japan」を開催しています。

■ 会議参加者への宣伝資料の提供

日本のPRブースや投票権者への配布資料として、JNTOの作成する日本紹介パンフレット等をご提供します。

■ 「国際会議開催マニュアル」のご提供

国際会議開催のノウハウをわかりやすく記載した冊子をご提供します。

■ 寄附金募集・交付金交付制度のお手伝い

JNTOは「特定公益増進法人」に指定されており、JNTOに寄附していただき、JNTOが会議主催者に交付金として交付することにより、寄附者は「特定公益増進法人に対する寄附金」として課税優遇措置が受けられます。入金取りまとめ、領収書の発行など煩雑な寄附金管理事務が軽減されます。

■ JNTOウェブサイトへのリンク

日本の観光情報についての総合サイトであるJNTOウェブサイトとのリンクにより、海外からの会議参加者に事前情報提供ができます。

■ 関係事業者のご紹介

日国際会議の運営会社（PCO）や旅行会社（DMC）をご紹介します。